

鍼灸で 健やかに!

2

登美ヶ丘治療院長

野口 創



統合医療

統合医療 (Integrative Medicine)

とは、患者にとって最良の医療をめざして、今日の医療の中心となっている西洋医学に、東洋医学をも含めた、なまのまな相補・

代替医療 (Complementary and Alternative Medicine) 略してC.A

M) のシステムや療法を積極的に取り入れて、治療とケアをしていくという医療です。

「鍼灸(しんきゅう)治療・漢方薬治療は、中国から日本へ伝わってきた」ということを知らない人は少ないと思います。東洋医学(中国医学)が日本に伝わったのは、仏教が伝わった時期とほぼ同

学である中国医学と西洋の医学を共存共栄させる選択をし、今日の中国医学を発展させてきました。現在の中国では、病院で「鍼灸科」や「中医内科(漢方内科)」を受診して治療し、必要があれば入院もできます。日本の病院の中に「整形外科」「内科」「呼吸器科」などがあるのと同じように「鍼灸科」「中医内科(漢方内科)」などの東洋医学の科もあるところがあります。

西洋医学が有効な疾患に対しては西洋医学治療を行い、東洋医学が有効な疾患に対しては鍼灸治療・漢方薬治療などの東洋医学治療を行います。二つの医学で互いの不足を補い、患者さんにとって最

「東洋」「西洋」が相補

時期の奈良時代です。その後、日本

良の治療法を選択できる非常に理想的な状況です。

の伝統医学としてさらに発展しましたが、西洋医学が伝わってきたから

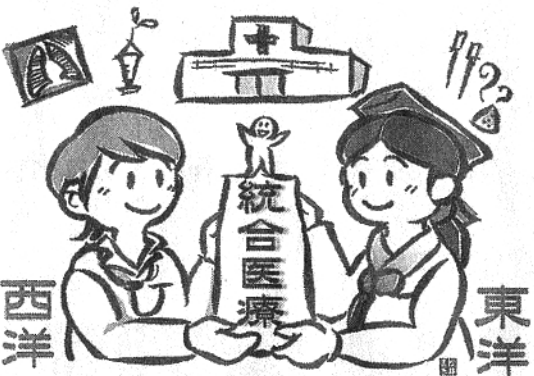
近年、欧米諸国では、西洋医学と東洋医学との統合の必要性が高まり、多くの医療の現場で西洋医学のみの治療に頼らない統合医療が実践され始めています。

の日本は西洋医学中心の医療に変わってしまっています。

日本も歴史からみれば、中国のように統合医療の先進国になり得たのですが、西洋文化偏重の中で、東洋医学を軽視してしまっただけです。

日本は伝統医学と西洋医学を共存共栄させる選択をしませんでした。中国では西洋医学が伝わってきたから、

現在、日本の統合医療の実践はまだですが、これからは統合医療こそが患者にとって必要な当たり前の医療となるでしょう。



東洋

西洋